

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年3月18日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 11週

平成31年3月11日 ~

平成31年3月17日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	9	3	1	2	13	9	8	21	20	86		2	1	3	6	3	7	12	3	5	5	5	5	6	7	7	1	3	5	

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~					
RSウイルス感染症	1	1	1			1		3	4	11	3		4	2			1		1										
咽頭結膜熱	10					1	2	3	1	17			5	2	2	3	2		1	1		1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	6	4		8	2	7	17	7	60			2	6	3	11	6	12	2	3	1	12							2
感染性胃腸炎	14	26	5	8	31	13	30	25	29	181	1	3	19	19	15	19	17	19	15	3	8	19	4						20
水痘										0																			
手足口病								1		1					1														
伝染性紅斑	5	1	1		1	2	1	5	3	19				1	4	3	3	3	1	2	1	1							
突発性発疹	4		1			1		1	4	11	1	5	4					1											
ヘルパンギーナ										0																			
流行性耳下腺炎										0																			

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎						3				3					1										2				

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症3例:1歳 女、2歳 女、3歳 女
 ○ロタウイルス感染症3例:2歳 女、4歳 女、12歳 男
 ○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:1歳 女
 北 区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:1歳 男
 垂水区○ノロウイルス感染症1例:1歳 男
 ○ロタウイルス感染症1例:3歳 男
 西 区○アデノウイルス感染症2例:3歳 女、4歳 男

【基幹定点からの報告】

ロタウイルス胃腸炎(入院例)4例:0~4歳 3例、10代、1例
 インフルエンザによる入院2例:20代 1例、70代 1例(うち、インフルエンザA型2例)

【全国の感染症の状況】

○麻しん

今週、神戸市内の医療機関から麻しん患者発生の届出が1例ありました。疫学調査の結果、海外(フィリピン)での感染が考えられ、また、発症後は受診(タクシー利用)以外の外出はありませんでした。

○風しん

全国で風しん患者の患者発生の報告が続いています。
 全国的には30代から50代の男性の割合が多く、この世代の男性においては、風しんの抗体価が低い方が2割程度存在することが報告されています。平成31年4月から昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象とした風しんの抗体検査および予防接種が始まります。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

[風しんの追加的対策について 厚労省HP](#)

○インフルエンザ

市内のインフルエンザの定点あたりの患者数は人1.8と減少傾向です(先週:3.2人)。
 昨シーズンと比較すると患者数の減少するスピードが速く、インフルエンザB型の患者数が少ないです。

これから春休みやゴールデンウィーク、就職時の研修など海外へ渡航する人が増える時期です。渡航先で感染症にかからないために事前に対策をしましょう。
 海外ではマラリア、デング熱、ジカ熱など蚊にさされることで感染する病気があります。ジカ熱を引き起こすジカウイルスは、妊婦が感染すると、赤ちゃんの頭が小さいままで生まれてきたり、誕生後に頭の成長が止まること(小頭症)があり、十分な予防対策が必要です。現地では、蚊に刺されないような服の着用や虫除け対策を行いましょう。
 また、麻しんが流行している地域も多く、渡航先で感染し、帰国後に発症する事例もあります。海外へ行く前に渡航先の感染症の流行状況を調べ、予防接種を検討しましょう。

[海外へ渡航される皆さまへ！](#)
[FORTH](#)

【お知らせ】バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「IL」情報センター](#)ホームページを開設しています。詳細は[こちらをクリック](#)